

『第20回化学工学北海道アカシアセミナー』（懇話会第158回講演会）

テーマ「北海道のエネルギー供給と利用の将来を考える!？」

主催：公益社団法人 化学工学会北海道支部，化学工学北海道懇話会

協賛：一般社団法人北海道バイオ工業会，公益財団法人北海道科学技術総合振興センター

後援：北海道経済部産業振興局環境・エネルギー室

化石燃料の今後の枯渇を見据え、安全且つ安価なエネルギーの生産、供給方法、効率的な利用方法に関する技術の開発が求められています。特に、北海道は他の都府県と比較して化石燃料使用量が多いため、現在未利用なエネルギーを活用することができれば、環境に対する負荷を大きく軽減し、持続可能な社会の構築を推進することができます。また、北海道は、豊富な再生可能エネルギー・廃棄物などの利用可能性が高く、エネルギー自給率を高めた分散型エネルギーシステムの構築が期待されています。

本セミナーでは、エネルギーの生産、貯蔵、利用システムの各分野で御活躍の先生を講師に迎え、幅広い見地から北海道のエネルギー問題の将来について、御講演・御討論いただくことに致しました。

多数の皆様の御参加をお待ち申し上げます。

日時：平成29年7月27日（木曜日）13:30～17:30

場所：北海道立総合研究機構 道総研プラザ 1階会議室

（札幌市北区北19条西11丁目、<http://www.hro.or.jp/index.html> Tel:011-747-0200）

参加費：無料

＜プログラム＞

開会挨拶 13:30～13:40

室蘭工業大学 教授（化学工学会北海道支部 支部長）大平 勇一氏

座長：北海道立総合研究機構 理事 尾谷 賢氏

講演1 13:40～14:30

『熱エネルギーの有効利用への新たな技術（蓄熱、デシカント空調など）』
岡山大学工学部 機械工学科 伝熱工学研究室 教授 堀部 明彦氏

講演2 14:30～15:20

『炭素循環社会の実現に向けた炭素資源変換技術とシステムのあり方』
九州大学 炭素資源国際教育研究センター センター長 教授 林 潤一郎氏

— 休憩 15:20～15:35 —

座長：産業技術総合研究所 北海道センター イノベーションコーディネータ 永石 博志氏

講演3 15:35～16:25

『北海道における再生可能エネルギー発電の可能性と課題』
北海道大学大学院情報科学研究科 システム情報科学専攻 電力システム研究室 准教授 原 亮一氏

座長：北海道立総合研究機構 工業試験場 環境エネルギー部長 赤澤 敏之氏

パネルディスカッション 16:30～17:20

『地域・産業特性に応じたエネルギーの分散型利用モデルの構築と展望』

閉会挨拶 17:20～17:30

北海道大学 教授（化学工学会北海道支部 副支部長）増田 隆夫氏

懇親会 17:35～19:35

会場：北海道立衛生研究所 1F

（札幌市北区北19条西12丁目、講演会の会場から徒歩1分程度）

会費：一般3,000円 学生1,000円

【参加申込要領】：

参加御希望の方は、御氏名、御所属、御連絡先（住所、電話/FAX、Eメールアドレス）及び懇親会御参加の有無を明記の上、6/30（金）までに、下記のEメールまたはFAXでお申込み下さい。

○申込先：北海道立総合研究機構 工業試験場 環境エネルギー部 松嶋景一郎，白土博康

E-mail: matsushima-keiichiro@hro.or.jp, shirato-hirovasu@hro.or.jp, Fax: 011-726-4057

※最新の情報は、北海道支部 HP (<http://www2.scej.org/hokkaido/>) をご覧ください。